

若手の DX プロジェクトでライブコマースシステムを低コストで内製化

2022 年日本民間放送連盟賞技術部門 技術奨励賞受賞

HTB 北海道テレビで、この度、2022 年日本民間放送連盟賞において、2021 年 8 月 29 日に実施した人気自社制作番組のオンラインイベント「水曜どうでしょうエアキャラバン」のために、2 カ月で内製開発したライブコマースシステムが、同賞の技術部門技術奨励賞を受賞しました。技術部門での受賞は初となります。

日本民間放送連盟賞の技術部門は、放送技術などに関する開発・改良によって民放事業に貢献し、その効果があらわれた技術実績が審査対象です。HTB のライブコマースシステム開発は、審査会で「社内の DX プロジェクト『ViEWS-on (ビューズオン)』*として、内製でライブコマースシステムを短期間かつ低コストで開発しオンラインイベントの成功に貢献した」と高い評価を受けました。

HTB では、2014 年から自社制作の人気バラエティ番組『水曜どうでしょう』の制作ディレクター陣が日本各地を周り、ファンと交流するイベント「水曜どうでしょうキャラバン」を実施していますが、新型コロナウイルス感染症のため、2020 年、2021 年はリアルイベントとしての開催は中止となりました。それに代わって、オンラインイベント「水曜どうでしょうエアキャラバン」をインターネット上で開催しました。この際、クラウド技術をベースにサーバレス・アーキテクチャ**を採用し、大規模なアクセスに耐えるライブコマースシステムを 2 カ月で構築し、同イベントの大規模オンライン配信と E コマース (EC) の融合を実現することができました。さらに、HTB では、この開発で得たノウハウを契機に、若手社員が DX プロジェクトを推し進め、クラウド上にデジタルプラットフォーム「ViEWS-on」を構築。スタジオからの有料ネット配信、大規模クラウド配信、生放送番組とオンエア連携した EC などを統合した仕組みを内製で開発しました。現在では、従来、外部発注していた自社の VOD サービス「hod」や EC サイト「HTB オンラインショップ」を内製で刷新し、独自の DX を実現しています。

HTB では、今後も「ViEWS-on」を活用したコンテンツ配信や EC サイトの運用を通して、ローカル局の DX モデルを追求するとともに、顧客満足度の充実に努めてまいります。

*Video・Event・WebShopping-onair の略称

**サーバを必要とせず、かつ時間による従量課金サービスを利用しないアーキテクチャ

【2022 年日本民間放送連盟賞技術部門技術奨励賞】

事績名：ローカル局におけるオンラインイベント「水曜どうでしょうエアキャラバン」における”使い切り”ライブコマースシステムの開発

研究・開発担当者：三浦一樹、西崎 隼、木原光太郎、岩淵 秀

